

2019年度の事業計画書（第13期）

2019年4月1日から2020年3月31日

認定特定非営利活動法人 びわ湖トラスト

1. 事業実施の方針

今後、大きな変化が予想されるびわ湖およびその集水域の環境監視と保全を実施するために、設立趣旨に基づいた活動を積極的に展開する。“湖沼及びその集水域の環境保全に関心を持つ人々と共に、調査研究の支援、環境修復の支援、情報交換の推進、環境教育の推進等に関する事業を行い、びわ湖を中心とした国内外の湖沼及びその集水域の環境保全に寄与することを目的とする（定款より）”

2. 特定非営利活動内容

事業名 (定款に記した事業)	具体的な事業内容	(A)実施予定日時 (B)実施予定場所 (C)従事者の予定人・日数	(D)受益対象の範囲 (E)予定人数	収支予算書の事業費の金額 (千円)	
				収入	支出
湖内調査研究支援事業	びわ湖内における調査研究の支援	(A)随時 (B)びわ湖 (C)50人	(D)(E)びわ湖の恵みを受ける不特定多数の人々	1,000	1,000
森林調査研究支援事業	森や河川を保全するための現地調査など(比良比叡トレイルのモニタリング)	(A)9月と10月 (B)比良比叡 (C)各10人	(D)(E)びわ湖の集水域の環境に興味をもつ不特定多数の人々	200	200
環境修復支援および美化事業	湖内における低酸素化修復や健全な水草管理など技術開発事業 湖内および湖岸に投棄されたごみの回収	(A)随時 (B)びわ湖 (C)150人	(D)(E)びわ湖の恵みを受ける不特定多数の人々	7,050	7,050
環境教育事業	調査船やカヌーによる湖上学習・トチノキ観察会・水辺写生大会など 小中高生の指導	(A)6回程度 (B)びわ湖と集水域 (C)1000人	(D)(E)将来びわ湖の恵みを受ける不特定多数の人々	11,490	11,490
情報交流事業	会員や市民との情報交流・講演会・びわ湖文庫など	(A)随時 (B)びわ湖と集水域 (C)100人	(D)(E)びわ湖の恵みを受ける不特定多数の人々	400	400
目的を達成するために自己体質の強化を図る事業	広報宣伝活動を強化し会員数強化を図る。ホームページやパンフレット作成	(A)随時 (B)びわ湖と集水域 (C)50人	(D)(E)びわ湖の恵みを受ける不特定多数の人々	0	0
緊急時の対応	事故や災害に備えた事業	(A)随時 (B)不特定 (C)100人	(D)(E)びわ湖の恵みを受ける不特定多数の人々	0	0
第1項の各事業を支援するための事業	各事業の運営を補助し円滑に進める支援事業	(A)随時 (B)国内全域 (C)理事・会員	(D)(E)びわ湖の恵みを受ける不特定多数の人々	3,247	3,247
特別会計	はっけん号の運用と管理	(A)随時 (B)びわ湖 (C)300人	(D)(E)びわ湖の恵みを受ける不特定多数の人々	8,880	8,880